

## 1. 大学連携

- (ア) 大学コンソーシアム岡山
- (イ) 岡山オルガノン
- (ウ) 倉敷市大学連携講座

## 2. 産学官連携

- (ア) 国：産学官連携推進会議

- (イ) 医学系大学産学連携ネットワーク（東京医科歯科大学）

- (ウ) 岡山県

- ① 岡山県産学官連携推進会議

- （全体会議，産業戦略本部，産業戦略プロジェクト委員会）

- (ア) 岡山TLO

- ② ものづくり重点4分野における産業クラスター形成に向けた取組

- |            |                          |
|------------|--------------------------|
| 1.精密生産技術   | (ア) ミクロものづくり岡山推進協議会      |
| 2.医療・福祉・健康 | (ア) メディカルテクノおかやま         |
|            | (イ) ハートフルビジネスおかやま        |
| 3.環境       | (ア) 中四国環境ビジネスネット         |
| 4.バイオ      | (ア) セルロース系バイオマス超微粉碎技術研究会 |
|            | (イ) おかやまバイオマスプラスチック研究会   |
|            | (ウ) おかやま食料産業クラスター協議会     |

# 伊東 香織 倉敷市長

所謂  
「公約」



くらしき力で市政刷新 www.ito-kaori.jp

# 伊東かおり

- トップページ
- プロフィール
- 伊東かおりの決意
- 皆さまとの10の約束
- 個人献金のお願い
- ボランティア募集
- 後援会のご案内
- ご意見・ご要望



携帯サイトも  
www.ito-kaori.jp で。

**伊東かおり事務所**  
倉敷本部事務所  
〒710-0824  
倉敷市白瀬町411-1  
TEL: 086-486-0114  
FAX: 086-486-0144  
[地図を表示](#)

**玉島連絡所**  
〒710-0252  
倉敷市新倉敷駅前4-107  
TEL: 086-526-8066  
FAX: 086-526-8067  
[地図を表示](#)

**水島連絡所**  
〒712-8012  
倉敷市水島5丁目1-1  
TEL: 086-446-5255  
FAX: 086-448-6104  
[地図を表示](#)

**児島連絡所**  
〒711-0921  
倉敷市児島駅前1丁目47  
TEL: 086-474-6655  
FAX: 086-474-6635  
[地図を表示](#)

**真備・船穂連絡所**  
〒710-1313

## 伊東かおり 皆さまとの10の約束

くらしき力で市政刷新  
— 伊東かおり 皆さまとの10の約束 —

- 「子育てするなら倉敷市」で  
子どもはくらしきの未来を担う地域の宝です。「子育てするなら倉敷市」といわれるように、地域の子育て支援を充実します。子育て世代が男女ともに、仕事と子育てが両立でき、安心して子どもを産み育てられる仕組みを構築し、**育児支援、保育、教育を充実**します。そして子育て世代に倉敷に住んでいただくことで、継続的な人口増を実現します。
- 人を育むまち、**学校教育、生涯学習の充実**  
学校教育を充実し、くらしきの未来を担う子どもの学力向上を目指すとともに、市民の文化・スポーツ活動を応援します。また、子どもからお年寄りまでが、いつでもどこでも気軽に生涯学習に取り組める仕組みをつくります。そのひとつとして、大学連携によるくらしき力で“大学コンソーシアムくらしき”を実現します。
- 健康で生涯現役、ひとのあたたかさを感じるまち**  
住むすべての皆さまが、健康で生涯現役でいきいきと暮らせるまちをつくります。健康づくり、食育、介護支援などを充実し、障がいのある人にもない人にも、地域ぐるみで、すべての人にあたたかいまちをつくります。また、団塊の世代をはじめとする皆さまが、その英知・技能・経験を活かして、倉敷で起業・創業していただき、生涯現役で働いていただけるまちをつくります。
- 地元商店街の活性化で、にぎわいの創出**  
地元商店街のお店の一店一店が元気でなければ、倉敷の繁栄・未来はありません。地元商店街は、地域の皆さまをはじめとする多くの人々がそこに集う、**地域生活の維持に必要不可欠な場所**です。商店街の皆さま、市民の皆さま、そして行政との協働で、まちに、**にぎわいを創出する施策**を展開します。
- 地域を支える企業は中四国地方の心臓**  
企業の皆さまは、くらしき力の源です。倉敷には特色のある多くの中小企業があります。また、水島コンビナート・玉島ハーバーアイランドには、日本経済を支える企業が集まっています。一つひとつの企業がくらしき力を発揮されるように、さらに瀬戸内海や高梁川流域の各地域とも横・縦の連携を強めることにより、社会循環としての血液(経済)の流れを高め、経済を活性化します。
- 倉敷を世界にPRし、“観光客を世界から”**  
倉敷の伝統ある文化・芸術、まちなみ・景観の美しさは世界的レベルの大きな魅力です。この魅力を世界にPRすることができれば、もっともっと多くの観光客が倉敷を訪ねてくれます。それは、倉敷の文化・芸術の一層の発展、さらに地域経済への波及効果を生み出します。そのため、倉敷の魅力を世界に向けて強力に発信し、世界から倉敷に人々が訪れる施策を展開します。

## ●人を育むまち、**学校教育、生涯学習の充実**

学校教育を充実し、くらしきの未来を担う子どもの学力向上を目指すとともに、市民の文化・スポーツ活動を応援します。また、子どもからお年寄りまでが、いつでもどこでも気軽に生涯学習に取り組める仕組みをつくります。そのひとつとして、大学連携によるくらしき力で“大学コンソーシアムくらしき”を実現します。

2009.5.21. 倉敷市より学園に「倉敷市内の大学連携による生涯学習事業（案）について依頼。

2009.11.5. 第1回 大学連携事業検討委員会

2010.1.21. 第2回

2010.3.25. 第3回

2010.4.22. 第4回

2010年度前期 実施

2010.8.6. 第5回

特集 倉敷の個性と魅力を伸ばす新たな挑戦

# 大学連携推進事業

市民を対象とした  
倉敷市大学連携講座を開催します

特集トップページは川崎医療福祉大学学生

10 校もの大学（短期大学・大学校）が市内に立地する倉敷。それぞれに個性と魅力を持つ市内の大学は、倉敷の貴重な知的財産です。

市では、市内の全大学と連携する、市独自の新たな「大学連携推進事業」に取り組みます。大学と行政、市民・企業が互いに連携・協働することにより、「くらしき」を最大限に発揮して、地域社会の発展を目指します。

今年度は、皆さんの大学に対する興味や理解を深めるとともに、子どもから高齢者までも学ぶことができる生涯の推進を図るため、市民を対象とした倉敷市大学連携を実施します。

企画経営室 ☎426

くらしき

# くらしき

担当職員もびっくりの「広報くらしき」での大特集

倉敷市大学連携講座があるよ！

母さんが大学の講義を聞いてみたいって

私立短大学生が表紙

## 特集 大学連携推進事業

市民を対象とした倉敷市大学連携講座を開催します

今月の別冊 くらしき 取り外してお読みください。

【市立短期大学、休憩時間中の講義室で】



特集1 みんなでつくるすてきなまち  
 特集2 感動をおわがとう!! 倉敷市出身の高橋大輔選手に  
**市民栄誉賞!!**

※発行所 倉敷市役所 倉敷市市民生活センター4階 広報課  
 〒710-0801 倉敷市東町1-1-1  
 電話 086-422-2111

ちなみに2号前の高橋大輔選手が表紙の「広報くらしき」は国内いろいろな自治体や個人からの購入希望が殺到したとのこと!



一紙をいただきました  
 ありがとうございます。これですごくうれしく思えることができ一安心というくらい、世界選手権では本当にありがとうございました。

バンクーバー冬季五輪男子フィギュアスケートで、日本人初の銅メダル獲得という快挙を成し遂げた倉敷市出身の高橋大輔選手。わたしたちに大きな勇気と感動を与えてくれました。深く敬意と感謝の意を表し、郷土倉敷の誇りとして、高橋大輔選手に市民栄誉賞を授与しました。



4月6日(火)、式典に先立ち行われた、倉敷ハレイドに約2万5千人が集まり、温かい声援を送りました。

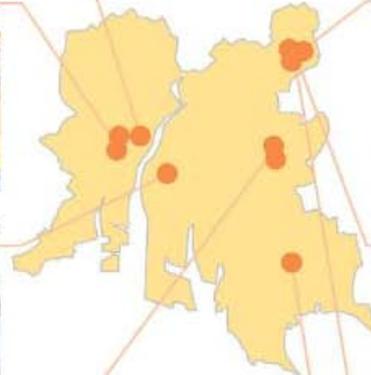
<p>▲倉敷フィギュアスケートクラブ 前田陽可 さん</p> <p>小学生のころから一緒に滑っていた人が、世界で活躍されて驚きました。一緒に練習していたことを光栄に思っています。</p>	<p>▲地元通商在住 三宅裕子 さん</p> <p>高橋選手のことを小さいときから知っていて、いつも応援しています。けがからの復帰に感動しました。</p>
---	---

特集2 感動をありがとう!!  
 倉敷市出身の高橋大輔選手に  
**市民栄誉賞!!**

# 市内10大学の紹介

## 個性と魅力あふれる 市内の10大学を紹介します

市内には、医療・保健福祉・文化・芸術・科学・産業など、それぞれの分野を専門的に担う素晴らしい高等教育機関が10校もあります。各校で、先進的かつ充実した教育によるスペシャリストの育成、最先端の研究を実践し、世界に貢献しています。



### 中国職業能力開発大学校

(玉島長尾1242-1) <http://www.ehdo.go.jp/okayama/pco/>

高校卒業者を対象とした専門課程(2年)と専門課程卒業者を対象とした応用課程(2年)を持つ大学校で、350人の学生が日夜、生産現場のリーダーを目指して勉学に励んでいます。各企業の技術相談や技術支援と、在職者のための教育訓練も年間を通じて行い、技術支援に関しては、企業のニーズに基づいた試作品開発を、年間10テーマ以上行っています。



### くらしき作陽大学 作陽音楽短期大学

(玉島長尾3515) <http://www.ksu.ac.jp/>

くらしき作陽大学は、音楽学部、食文化学部、子ども教育学部の3学部と6学科、大学院音楽研究科を擁する総合大学です。併設の作陽音楽短期大学は、中・四国、九州地区で唯一の音楽学科のみの短期大学です。豊かな情操と専門的な知識・技能を備え、地域の文化の向上に貢献できる人材を養成することを目的としています。



### 倉敷芸術科学大学

(連島町西之浦2640) <http://www.kusa.ac.jp/>

芸術学部、産業科学技術学部、生命科学部の3学部があります。「芸術の大学」というイメージがありますが、科学分野での充実した施設もあり、「芸術と科学が融合」した全国でも珍しい大学の一つです。このような特色を生かし、市と連携・協力しながら、地域の皆さんにとって有意義な講座を開講し、多様な生涯学習の機会を提供しています。



### 岡山学院大学 岡山短期大学

(有城787) <http://www.owc.ac.jp/>

岡山学院大学食物栄養学科では現場ですぐに活躍できる管理栄養士を養成するため、栄養指導を実体験するプログラムをそろえています。岡山短期大学幼児教育学科は、県内でも歴史のある保育者養成校です。多くの卒業生に支えられ、優秀な保育士・幼稚園教諭に必要な現場学習に力を入れています。



### 川崎医療短期大学

(松島316) <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/>



全国でも数少ない医療・福祉・保育系の総合短期大学です。看護科・臨床検査科・放射線技術科・介護福祉科・医療保育科があります。川崎学園との医療連携で、より専門性の高いカリキュラムが構成されています。その教育体制の充実ぶりが、全国平均を大きく上回る各種国家試験の合格率と、100%に近い専門職での就職率となって現れています。

### 川崎医療福祉大学

(松島288) <http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/>



医療福祉学部・医療技術学部・医療福祉マネジメント学部があります。「医療福祉」を冠にしたわが国初の大学として、平成3年に開学して以来、今年で20周年を迎えます。医療福祉の領域で創造的に活躍できる、優れた人間性と高度な知識・技術を併せ持ったスペシャリストを養成しています。

### 川崎医科大学

(松島577) <http://www.kawasaki-m.ac.jp/med/>



この地に大学と病院を構えてから、良医の養成、最善の医療の供給、そして最先端の医学研究を貫いてきました。昨今の医療が抱える多くの問題点に対して、地域医療・围産期医療・脳卒中対策、感染症対策などで先鋭的な取り組みを実施し、医学研究においても難病対策や環境とのかかわりについて先進的な研究を実践しています。

### 市立短期大学

(児島禰田町160) <http://www.kurashiki-cu.ac.jp/>



保育学科は、高い専門性と温かい献身の心を持った保育のスペシャリストを養成します。服飾美術学科は、アパレル・ファッション業界を目指す人材や、ファッションデザインをリードするクリエイターを養成します。恵まれた教育環境の中、経験豊かな教師陣によって、「愛」と「美」を創造する人材を養成しています。

## 10大学の情報が集結 ライフパーク倉敷の「大学情報コーナー」

市内の全大学(短期大学・大学校)のパンフレットなどをライフパーク倉敷に設置しています。オープンキャンパスや学園祭、市民公開講座など一般市民向けのイベント情報や、入試情報などもあります。



**6 寄生虫とたたかい**  
 スライドで見るアフリカの争と医療援助活動  
 7月22日(木) 14時～15時半



川崎医療短期大学  
 下田健治 先生

**5 岡山の歴史・文化と食を楽しむ**  
 味わい体験「岡山のキノコ」  
 7月17日(土) 13時半～15時半




岡山学院大学  
 尾崎 聡 先生

岡山学院大学  
 松下 至 先生

「知恵と技！知識のフルコース」  
**珠玉の8講座をライフパーク倉敷で開催**

どの講座も個性豊かで、楽しく教養あふれるものばかり。各大学自慢の講師陣が、分かりやすく講義を行います。フルコースを堪能するもよし、狙いを定めて受講するもよし。市内在住・通勤・通学の人はなたでも参加可。もちろん無料！

**2 時代とともに変わりゆく日本の子ども歌**  
 7月9日(金) 14時～15時半



くらしき作陽大学  
 東松美代子 先生

**7 親子でいっしょにハルーンあそび**  
 7月3日(土) 10時～11時半



市立短期大学  
 奥富講一 先生

**8 ロボットコンテストあれこれ**  
 7月24日(土) 13時半～15時



中国職業能力開発大学校  
 原 圭吾 先生

**7 川崎医大発 医学医療の最前線 ア・ラ・カルト**  
 7月23日(金) 10時～12時



川崎医科大学  
 大槻剛巳 先生

**4 科学とアートの融合 くるくるまわるかわるかわる**  
 7月16日(金) 18時～19時半



倉敷芸術科学大学  
 カスパー・シュワベ 先生

**3 健康と安心を支えるための医療福祉サービス**  
 7月15日(木) 13時半～15時



川崎医療福祉大学  
 大田 晋 先生



場所  
 ライフパーク倉敷(福山町古所田9丁目)

申込方法  
 ①氏名(ふりがな) ②性別  
 ③年齢(電話番号) ④性別  
 ⑤希望する講座名(希望する講座の1講座まで)に郵便・FAX・Eメールで、申込人数の場合は指席

申込・問い合わせ先  
 本庁企画経営室(〒790-0000) 西  
 中新田640-4 4226  
 3055、FAX 4226  
 131、Eメール pnp@cpj.kurashiki-u.ac.jp

**7 川崎医大発 医学医療の最前線 ア・ラ・カルト**

7月23日(金) 10時～12時



川崎医科大学が進めている、医学医療の最先端や地域貢献など、どこまで進んでいるのかを分かりやすく紹介します。

昨今の医療が抱える多くの問題点に対して、先進的に取り組んでいます。

川崎医科大学  
 大槻剛巳 先生

7/23に実施  
 ア・ラ・カルトということで  
 救急(ドクターヘリ)、脳卒中、小児科医療、産科医療、生活習慣病(慢性腎臓病)、臨床腫瘍・・・それぞれの先生から頂戴したスライドを説明させていただきます。

# 見学者増加を目指した体験教室の 開催について



## 倉敷市大学連携講座 前期講座 受講状況（最終）

開催日	講座テーマ	大学名及び講師名		応募者数	受講者数
7月 3日(土) 10:00～11:30	第1回「親子でいっしょにバルーンあそび」 (ライフパーク倉敷・大ホール)【親子30組まで】	倉敷市立短期大学	奥富 庸一 講師	49組 119人	28組 67人
7月 9日(金) 14:00～15:30	第2回「時代とともに変わりゆく 日本の子どもの歌」 (ライフパーク倉敷・音楽練習室)	くらしき作陽大学	乗松 美代子 教授	36人	29人
7月15日(木) 13:30～15:00	第3回「健康と安心を支えるための医療福祉サービス」 (ライフパーク倉敷・中ホール)	川崎医療福祉大学	大田 晋 教授	51人	46人
7月16日(金) 18:00～19:30	第4回「科学とアートの融合」 (ライフパーク倉敷・中ホール)【材料50人分まで】	倉敷芸術科学大学	カスパー シュワーベ 教授	77人	38人
7月17日(土) 13:30～15:30	第5回「岡山の歴史・文化と食を楽しむ」 (ライフパーク倉敷・視聴覚ホール/実験実習室)	岡山学院大学	尾崎 聡 教授 松下 至 准教授	40人	33人
7月22日(木) 14:00～15:30	第6回「寄生虫とのたたかい」 (ライフパーク倉敷・第3会議室)	川崎医療短期大学	下田 健治 教授	24人	18人
7月23日(金) 10:00～12:00	第7回「川崎医大発 医学医療の最前線 ア・ラ・カルト」 (ライフパーク倉敷・第1会議室)	川崎医科大学	大槻 剛巳 教授	64人	52人
7月24日(土) 13:30～15:00	第8回「ロボットコンテストあれこれ」 (ライフパーク倉敷・第1会議室)	中国職業能力開発大学校	原 圭吾 准教授	35人	30人
合 計				446人	313人

申し込み多数で抽選になった講座

メリット（吉備創生カレッジと比較して）

- ・ 無料である（吉備創生は3回連続講座で¥2,200必要）
- ・ 「ライフパークくらしき」が学習講座として定着，かつ駐車場も完備
- ・ 広報くらしき でのPR効果が絶大！

（ライフパークでは10年くらい年間100を超える生涯学習講座を設けているが今回は新規受講者が多かった）

総計8回で受講者 313人（延）

- ◆もっともっと聞きたいと思った。またこのようなものをシリーズで聞きたい。
- ◆アラカルトの全般紹介が中心であり、小児科での緊急医療のコンビニ化等参考にはなったが、次回、または来年の講座を期待している。 ◆十分役立ちました。
- ◆知らない医療が少しわかった様に思います。 ◆成人病、がんの予防についての話をして欲しかった。
- ◆詳しく知りたい事項については川崎医大ホームページを参照するなど、手がかりを教えて欲しい。
- ◆わかりやすい説明をありがとう。今後の大学連携講座の発展を期待します。
- ◆先生のお話をまた別の機会で伺いたい。
- ◆参考になった。今後の講座、アラカルトでなく複数回で1つのテーマをやる形は賛成です。
- ◆お医者さんの立場のジレンマも少し理解しました。マスコミで見る医療の不備は倉敷ではあまり感じず、ありがたいと思っています。 ◆また勉強しなくてはと思いました。
- ◆前回バスで来た時、バス停から走ったので自転車で来ましたが遠いです。車を持っていないものにはライフパークはつらいです。市民会館か芸文館か公民館で開催してくださるとすぐに行けます。
- ◆お医者さんのウラ話はとてもおもしろかったです。興味津々、ぜひ次が聞きたいです。脳の栄養になります。
- ◆とても興味がある話で有意義な時間を過ごせました。また秋にも参加したいです。楽しみにしています。
- ◆講師の大槻Drの話し方がとても親しみやすく、解りやすかった。
- ◆大変有用で楽しいくらいでした。講座の入り口として“アラカルト”良かったのでは。
- ◆良かったので、また次も参加したい。5年、10年、20年先を見て、人間の体をつくる上での医学をきわめておられる心・気持ちがくわしくわかり感動しました。感謝。
- ◆環境問題、まちづくり（大学連携講座で取り組んでほしいテーマ?）
- ◆医療者の立場、患者の立場で伝える事の大変さもあると思います。患者の立場もわがままにならないよう、心がけたいと思います。 ◆手元資料（レジユメ）が欲しかった。
- ◆いくつかの項目について、もう少し詳しく説明してもらったらBest。専門外の領域（と言われましたが）を判り易く説明して頂いた。2時間の熱弁ありがとうございました。
- ◆一度だけでなく、定期的にご利用します。2時間の間に休憩を入れてほしい。秋の講座にも是非参加したい。
- ◆第2回目も楽しみにしております。
- ◆大変よい勉強になりました。

◆地域の川崎医大をさらに身近に感じました。

自分自身の健康維持の考え方に役立てたいと思います。専門医にかかった時は疑問点も聞けるように。

◆ちょっと早口で聞き取りにくいところがあった。ガンについてももっとくわしく話がききたい。

◆中休けいもなく、2時間かっちりの講演でしたが、興味深く聞くことができました。

◆今後はテーマを決めて、「一般対象」として解りやすい講義をお願いしたい。

◆たいへん興味深く、刺激を受ける話ばかりでした。次は大槻先生の専門分野の話も聞いてみたいです。

今後の希望です。お話の中にもありましたが、長期（何回か）に渡って、それぞれの専門医のもう少し詳しい話も聞いてみたいです。受講者の年齢層が高かったのも、もっと若い人（特に今日の話は妊婦さんや子育て中のお母さんなど）にも聞いてほしいと思いました。今日、子どもを預けて来たので、子どもを見てもらえるシステムがあればうれしいですね。 ◆最初、エアコンがききすぎて寒かったです。

◆まだまだたくさんの分野があるのでしょうか。次回も期待しております。先生のあたたかいお人柄がうかがえ好感がもてました。

◆今後、個別の講座があるとうれしい。

◆今後の展開に期待。

◆良い勉強になりました。なかなかこういう機会がないので、次回（秋頃の分）も参加したいです。

◆どの先生もお話上手でわかりやすいいい講座でした。ありがとうございました。

（私も川大にはお世話になりました。）

◆高齢者が多くなります。そういう観点での研修講座を望みます。

◆大変良いお話を有難うございました。今後も是非参加したく思っています。

◆次回も受けたいと思いますので、実現することを期待しています。

◆室内の温度が上がったり下がったりして気がちりました。2時間ぶっつづけ聞くのは少し長いので、休けいをいれながらするようにしていただけたら。若くないので。

◆後ろの席になるとスライドが（下の方が）見にくいので、少し上に上げていただけるとありがたいです。

◆全内容、興味津々で聞きました。川大の夏の体験、私も参加してみたいと思いました！！

◆医学医療の最先端の話がなかったような気がします。講座名にアラカルトを謳っている意味がわかりましたが、幅広い内容よりも1つ2つに特化していただいた方が満足できると思うし、講座を選ぶ際に判断しやすいと思いました。先生のコトバはわかりやすく、よかったです。

## 今後の展開

- ・ 2010年度 後期講座 (秋)

川崎医科大学担当

川崎医大発 医学・医療の最前線 ア・ラ・カルト ～2～

1回目に紹介させていただいた以外の教室にご依頼します。  
何卒よろしくご協力お願いいたします。」



## 次年度以降

なんらかのテーマを決めて、複数大学講師による連続講座！

秋以降に協議されると思います。

種々のテーマによって、特に臨床の先生方にはご協力を依頼することが生じるとはと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

市民公開講座などがあれば、四半期に一度の広報らしきでのPR、ならびにライフパークの大学情報コーナーへのチラシの設置など、協力して下さるそうです。大槻あるいは庶務係(川西)までご連絡ください。